

※ 黄色網掛・青色文字・波線部分を一部修正しました／事務局 ※

下記の「令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）」は、2025年9月26日付けで静岡市に提出した「令和8年度補助金交付要望書／要望額3,000,000円」を基に、3部会長から事前にご確認いただいた内容です。

なお、この要望書は10月21日開催の第3回理事会時において既に協議いただいておりますが、12月16日に静岡市産業政策課より『来年度の補助金は要望額から500,000円減額した2,500,000円とし、補助対象経費についても補助金交付要綱に即した見直しを図っていただきたい』旨の要請がありました。

そのため、本理事会にて協議していただく内容は「補助金500,000円減額に対応した事業計画（案）及び収支予算（案）」となっております。

特定非営利活動法人 静岡情報産業協会

## 令和8年度事業計画（案）

### I. 令和8（2025）年度事業計画

自：令和8（2026）年4月1日

至：令和9（2027）年3月31日

#### 1. 事業計画の概要

静岡地域における情報産業基盤の整備、人材育成の必要性、産学官連携による地域課題の解決への期待を受け、平成2（1990）年に「情報の産業化と産業の情報化」を目的として当協会は設立され、平成20（2008）年10月1日には「特定非営利活動法人静岡情報産業協会：SIIA」となり、これまで35年にわたって静岡に情報産業の醸成を促すとともに、地域の企業や住民、さらに行政の情報化に協力することを目的に事業を進めてきた。

現在、我が国では“国を挙げてデジタル化の推進”を図っており、ビジネス環境の激しい変化に対応するため、デジタル技術の活用により「顧客や社会のニーズに即した製品やサービスのビジネスモデル構築」の実現を図り、業務・組織・プロセス・企業文化や風土の変革により競争上の優位性を確立することを目指した「DX化の指針」を明らかにしている。

生成AIやメタバースなど、日々の変化が著しいICT業界において、SIIAでは会員企業や団体のスキルアップを図るため「最先端のデジタル技術習得の機会」を提供し、会員が有しているデジタル技術を活用することで、地域のデジタル化やDX化への支援を行っていくとともに、大学生などの若い世代に対して、ICT業界に関する啓蒙と啓発に努めていく。

## (1) 教育研修部会

### 「市場及び技術動向を踏まえ、会員のスキルアップを図るための機会を提供」

移り変わりが激しい ICT 業界において、常に市場や技術の動向を踏まえ会員のために役立つ情報と学習機会を提供することに主眼を置き、当部会が有する特性を活かし、新たな技術や今後の ICT 業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナーや研修会を開催し、会員にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育や研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。この技術者育成研修事業は、毎年、一般社団法人情報サービス産業協会（JISA）の地域連携事業に応募しており、令和 8 年度も同様に補助金を得て地域ビジネス活性化に資する活動を実施する。

さらに、視察研修事業については、3 年前から国内視察研修として再開したが、令和 8 年度も各地の先進事例など学ぶべき地域の探索を行い、首都圏あるいは地方に視野を広げ、そこから時代の先端を行く事例の研究を深めていく。

## (2) ビジネス交流部会

### 「会員間の情報交換や産学官との交流により、ビジネス機会の創出を目指す」

会員相互及び地域との交流を深めることで新たなビジネス機会の創生を図ることを目的に、会員企業が保有する得意技術やサービスなどを発表し、そこから相互交流を発生させる仕組みとして「会員交流会」を継続的に行ってきたが、会員からの評価も高いことから、令和 8 年度も継続して「会員交流会」を開催する。

併せて、これまで 3 年にわたり開催し参加者から好評を得てきた「会員企業の若手社員同士による交流セミナー」についても、教育研修部会と連携して令和 8 年度も継続して実施する。

また、交流会から得た会員同士の技術やノウハウを互いに共有し、協会から外部に目を向け、自治体や小規模事業者が抱える課題解決策について具体的な提案できるような体制ならびに機会づくりを強化していく。

## (3) 次世代育成部会

### 「産学官との連携を深めるとともに、会員の人材確保力を高め、担い手の育成に努める」

ICT 業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している当部会では、令和 8 年度も継続して同様のテーマにより地元の ICT 企業の人材確保をテーマに活動する。

SIIA の特色の一つでもある、地元の大学や専門学校等の教育機関との連携に係る実績は年々積み上がっており、これまで培ってきた事業ノウハウを活かし、会員企業の先輩技術者や経営者などを講師とした各種講座の継続的開催に取り組み、大学生等を対象に、ICT 企業で働く魅力とやりがいを知る機会を提供する企画を実施する。

一方で、学生の売り手市場や少子化が加速するなか、従来の採用方法では人材確保が一層厳しくなることから、会員企業の人材確保力を高めるための知識向上や実践機会を創設する。

#### (4) 部会連携プロジェクト

これまで3部会の連携による事業展開が実績を挙げつつあり、令和8年度においても当該事業を継続して、部会を横断した「部会連携プロジェクト」により、SIIAから外部に向けた提言活動を含む発信力及び行動力の向上を目指す。

## 2. 事業の骨子

以上を踏まえ、SIIA 令和8年度事業を次のように計画する。 ※赤字部分を加筆修正※

### (1) 教育研修部会の事業／事業費予算額 ~~230万円~~ → 170万円 (補助対象／対象額 163万円)

#### ①通常総会開催時に講師を招き講演会を開催

- ・実施時期：令和8年5月
- ・開催場所：静岡商工会議所会議室
- ・経費予算：10万円 (補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費)

#### ②国内での体験や視察ツアーを実施して ICT 業界の最先端情報を収集

- ・実施時期：令和8年6月～令和9年2月
  - ・開催場所：未定
  - ・実施内容：国内の IT 関連施設などを視察し、新たな働き方を知り考える機会を創生
  - ・収入予算：~~20万円~~ → 0円
  - ・経費予算：~~20万円~~ → 10万円 (旅費・宿泊費は自己負担とし、一部10万円は事業費)
- ※補助対象経費は交通費3万円、残額7万円(宿泊費、会議費等)は対象外

#### ③地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施

- ・実施時期：令和8年8月～12月
- ・予定人数：30人
- ・開催場所：静岡大学
- ・収入予算：~~90万円~~ → 0円
- ・経費予算：~~160万円~~ → 110万円 (補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費)

#### ④IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施

- ・実施時期：令和8年7月～令和9年2月
- ・開催場所：静岡市内(未定)
- ・収入予算：~~14万円~~ → 0円
- ・経費予算：20万円 (補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費)

#### ⑤会員からのニーズに応じたセミナーを実施

- ・実施時期：令和8年6月～令和9年2月
- ・開催場所：静岡市内(未定)
- ・収入予算：~~4万円~~ → 0円
- ・経費予算：10万円 (補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費)

⑥若年層を対象とした ICT 講座を開催

- ・開催時期：令和 8 年 8 月～12 月
- ・開催場所：未定
- ・経費予算：10 万円（補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費）

**(2) ビジネス交流部会の事業／事業費予算額 30 万円 → 24 万円（補助対象）**

①会員企業の得意技などの発表機会を活用した会員交流会及び交流会終了後の交流懇親会を開催（年 2 回開催）

- ・開催時期：令和 8 年 6 月～令和 9 年 2 月
- ・開催場所：静岡商工会議所会議室
- ・経費予算：~~10 万円~~ → 8 万円（補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費）

②会員企業の若手社員を対象にセミナー及びセミナー終了後の交流懇親会を開催（年 2 回開催）

- ・開催時期：令和 8 年 6 月～令和 9 年 2 月
- ・開催場所：静岡市内会議室
- ・経費予算：~~15 万円~~ → 13 万円（補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費）

③自治体及び小規模事業者向け DX による業務変革課題に対する提案

- ・地域の ICT 化に寄与するため、ICT 関連の専任者がいない組織や小規模事業者が抱える課題に対して、担当者の声を直接聞ける場を用意し、会員企業とのマッチングにより、解決に向けた支援を行う。
- ・実施時期：令和 8 年 7 月～令和 9 年 2 月（適宜開催）
- ・経費予算：~~5 万円~~ → 3 万円（補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費）

**(3) 次世代育成部会の事業／事業費予算額 70 万円 → 66 万円（補助対象）**

①学生向け ICT 講座

- ・実施時期：令和 8 年 6 月～令和 9 年 2 月
- ・大学生（特に文系学生）向けに、IT 業界の魅力を感じてもらい、且つ、資格取得を支援する講座を開催
- ・経費予算：~~40 万円~~ → 38 万円（補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費）

②「未来志向の学生向けセミナー」の企画・立案、実施

- ・実施時期：令和 8 年 6 月～令和 9 年 2 月
- ・開催場所：静岡大学、静岡県立大学、常葉大学、静岡英和学院大学など、SIIA の会員大学での開催
- ・経費予算：~~30 万円~~ → 28 万円（補助対象＝講師謝金、会場費、資料作成費）

**(4) 会議交流事業／事業費予算額 47 万円 → 22.5 万円 (補助対象外)**

①総会時会員交流会を実施

- ・開催時期：令和 8 年 5 月 26 日 (通常総会及び記念講演終了後に実施)
- ・開催場所：静岡商工会議所
- ・参加人数：50 人
- ・経費予算：~~40 万円~~ → 5 万円 (補助対象外=会員懇親会費)

②理事交流会を実施

- ・収入予算：7 万円
- ・支出予算：~~12 万円~~ → 10 万円 (補助対象外=理事懇親会費)

③総会・理事会・運営委員会・プロジェクト (PT) 等の会議開催

- ・経費予算：~~25 万円~~ → 7.5 万円 (補助対象外=会場費)

④部会連携プロジェクト会議を適宜開催し、今後の SIIA の新たな可能性を見出す。

**(5) 地域連携事業／事業費予算額 25 万円 (補助対象外)**

①業会団体及び地域の団体・機関並びに自治体を実施する事業への協力

- i. 会員への情報提供のため、一般社団法人情報サービス産業協会 (JISA) への入会継続
  - ・経費予算：25 万円
- ii. JISA が実施する「地域連携事業」プログラムに参加
  - ・収入予算：30 万円
- iii. 静岡県及び静岡市が開催するデジタル化に関するセミナー及び研究会への協力
- iv. 静岡商工会議所が実施する「情報文化部会」への参加協力
- vi. 「地域企業デジタル化推進特別委員会」への参加協力

②西部・東部ベンダー団体と情報連携する。

**(6) 広報事業／事業費予算額 55 万円 (補助対象外)**

①会員に対する情報提供 (Web 広報、パンフレット等作製、HP・サーバー管理等)

- ・経費予算：55 万円

～ 令和 8 年度収支予算 (案) は、別紙【20260120 理事会資料 2】を参照 ～

- <修正点 1> 収入及び支出について、補助対象と補助対象外に区分した。
- <修正点 2> 補助対象事業の収入は「0 円」とした。
- <修正点 3> 事業経費 (補助対象事業 及び 補助対象外事業) を削減した。
- <修正点 4> 一般管理費 (補助対象外) のうち事務委託費と手数料を削減した。